

令和8年度

「市長が訪問します

市政に対するご意見をお聞かせください」

結果報告書

1. 開催日時 令和8年6月15日（月）
10時00分～11時00分
2. 開催場所 高山市総合福祉センター 会議室
3. 参加者 高山市連合長寿会役員 11名



【テーマ】

人生百年時代と言われる中、市連合長寿会でも多くの課題を抱えているが、シニア世代がいつまでもいきいきと元気に活躍できる高山市を目指すために何が必要か、長寿会として何ができるかをテーマに意見交換を行った。

■高山市連合長寿会の現状

- ・加入する単位クラブ数と会員数が減少している。
- ・役員のなり手がなく苦勞している。
- ・健康長寿として生きがいや健康づくりだけでなく、見守り・環境美化・世代間交流の活動を通じた地域福祉への役割を果たしていると感じている
- ・支えられるだけでなく、引っ張る側として活動している。

■長寿会意見

①地域の現状、課題など

- ・元気な長寿会は地域活性化の基幹であるが、新規会員が減少している。
- ・役員になったことで長寿会の必要性を感じている。
- ・もっと活動を知ってもらうために、活動や会員募集を広くPRしていきたい。
- ・町内会や市広報でのPRに協力してもらいたい。
- ・市の医療への考え方や取り組みに期待している、地域医療の重要性を感じる。
- ・参加して良かったと思ってもらえる行事づくりをしている、役員になって良かったと感じることもある。

②市への要望など

- ・補助金の制度や申請手続きを見直してほしい。
書類作成の簡素化、用途の緩和、器具更新は別枠にする
会員数に応じた交付など制度の見直し
花壇整備には他の補助を活用している
- ・高齢者の事故が増加している、路線バスなど公共交通を充実してほしい。
通院、長寿会活動への参加手段に困っている
- ・長寿会とは別に活動するサークルへの直接補助があるといい。

■市長から感想等

- ・長寿会は、行事や地域をつなぐ役割を担っており、市にとって必要な存在である。行政では手の届かない細かなところに関わってもらい地域が活性化している。市とパートナーとして取り組んでもらっているという思いでいる。
- ・健康な高齢者が地域へ参画することで、学べる人がいる。
- ・補助金を出す側受ける側という関係だけでなく、地域を知る人に地域の問題に関わってもらいたいという思いでいる。